

## パワーリベラメンテの展開(15)

### —総括(2)—

#### 2. 各レポートの要約

##### 2-6) 個々の機器への適用(1)

<http://audiokenkyu.sakura.ne.jp/wordpress/wp-content/uploads/2013/11/632cc60c86cdb07067088e921dbfc47e.pdf>

タップから機器へのパワーリベラメンテ給電の効果を調べる最初の試みとして DA-3000 と MYTEK DIGITAL 192-DSD を対象としてパワーリベラメンテの効果を調べてみることにしました。この二つは原則、デジタル再生のすべてについて信号経路になっていますので、いろいろな音源の効果への影響が分かります。音源再生の対象としては、EMT981 と Plector Premium 2U による CD 再生、BZT9000 による BS 録画再生、外付け HDD からの DSD 音源の再生、ベルリンフィル Digital Concert Hall の再生などです。

その結果、DA-3000 の交換では、音の溶け合いと湿度感や弦の艶などに特徴があり、MYTEK DIGITAL 192-DSD の交換では、溶け合いよりは分離と透明度が向上します。即ち、DA-3000 と MYTEK DIGITAL 192-DSD のパワーリベラメンテへの交換ではタップ経由の効果からさらに向上し、DA-3000 と MYTEK DIGITAL 192-DSD のそれぞれの特徴がより鮮明に出てくる方向に変わりました。

##### 2-7) 個々の機器への適用(2)

<http://audiokenkyu.sakura.ne.jp/wordpress/wp-content/uploads/2013/11/ad10074d391fddd72f5faa1bb4a0c417.pdf>

今回は、EMT981 の CD 再生ルートである EMT981 と CCV-5 について実施します。EMT981 と CCV-5 はそれぞれタップから電源を取っていますので、これらの付属ケーブルをパワーリベラメンテに交換します。

EMT981 の電源ケーブルのパワーリベラメンテへの交換では、音の変化の方向性としては、DA-3000 の場合と似ていますが、EMT981 の特徴であるアナログライクなより芳醇な方向を推し進めたようになります。CCV-5 の電源ケーブルのパワーリベラメンテへの交換では、EMT981 の場合に比べて、よりニュートラルで端正な方向で変化します。2-6)の結果と併せて比べてみますと、それぞれの特徴が出ていて、ウォームからクールへの順序をつけるのであれば、次のようになります。

EMT981 →DA-3000→ CCV-5 →MYTEK DIGITAL 192-DSD

#### 2-8) 個々の機器への適用(3)

<http://audiokenkyu.sakura.ne.jp/wordpress/wp-content/uploads/2013/11/26e61ee4d6a46c4fa6e8e37faf076db0.pdf>

今回は、BZT-9000 の BS 録画再生ルートである BZT-9000 と CCV-5 について実施します。BZT-9000 と CCV-5 はそれぞれタップから電源を取っていますので、これらの付属ケーブルをパワーリベラメンテに交換します。

BZT-9000 の電源ケーブルのパワーリベラメンテへの交換では、EMT981 の場合と同様の効果が認められますが、BZT-9000 の個性はオーディオ的に練り上げられた EMT981 ほど強くありませんから、効果はそれほど強く出てきません。CCV-5 の電源ケーブルのパワーリベラメンテへの交換では、EMT981 の場合と同様の効果が認められますが、BZT-9000 の個性が強くありませんから、CCV-5 の効果の方が目立って前報(7)の EMT981 の場合と同様の端正な方向性がより強く出てきます。BZT-9000 →CCV-5→DA-3000→MYTEK DIGITAL 192-DSD の流れで、1 本だけ替えるとすれば、CCV-5 か、DA-3000 かということになり、2-7) の結果と合わせると、CCV-5 を先に替えておけば、BZT-9000 と EMT981 の再生の両方に効果があると言えます。

#### 2-9) 個々の機器への適用(4)

<http://audiokenkyu.sakura.ne.jp/wordpress/wp-content/uploads/2013/11/86d6aec4a2359ffd1e5107b2b389f0da.pdf>

USB-201、CCV-5、DAC-1 について実施します。これらはデジタル入力系のタップから電源を取っていますので、これらの付属ケーブルをパワーリベラメンテに交換します。音源は、外付け HDD から Audiogate3 で再生した 192KHz24bitWAV 音源と 5.6MHzDSD 音源の再生とベルリンフィルの Digital Concert Hall の再生です。

いずれも PC から USB-201 に 96KHzPCM のフォーマットで送り出します。

USB-201、CCV-5、DAC-1 については、いずれもインフラノイズの機器であってそれらの間での効果の差は小さく、どれをとっても満足のいくものでしたが、敢えて違いに触れると次のようなこととなります。USB-201 の電源ケーブルのパワーリベラメンテへの交換では、CCV-5、DAC-1 に比べると、やや効果が小さい感じがします。

CCV-5 の電源ケーブルのパワーリベラメンテへの交換では、前報までの EMT981 や BZT-9000 の時と同様、CCV-5 のパワーリベラメンテへの交換ではニュートラルで端正な方向での変化が感じられます。DAC-1 の電源ケーブルのパワーリベラメンテへの交換では、いかにも DAC-1 らしい落ち着いた感じのある方向での変化が好ましく感じられ、CCV-5 とどちらにするか、迷うところです。これまでの結果を合わせると敢えて 1 本に絞るとすれば、EMT981 や BZT-9000 と共用できる点で CCV-5 にメリットがあります。

#### 2-10) 個々の機器への適用(5)

<http://audiokenkyu.sakura.ne.jp/wordpress/wp-content/uploads/2013/11/f4bcdab6>

[cf5a17724b280b3bbb8b24fe.pdf](http://audiokenkyu.sakura.ne.jp/wordpress/wp-content/uploads/2013/11/d6129598819f13a9ef0b2a427bf471fe.pdf)

ベルリンフィル Digital Concert Hall、BZT-9000 における BS 録画の再生、EMT981 における CD 再生の 3 つのルートでおのおの GPS-777 と ABS-7777 への適用効果を調べてみました。

ベルリンフィル Digital Concert Hall における DA-3000 への ABS-7777 からのクロック供給に対するパワーリベラメンテの効果は、DA-3000 にパワーリベラメンテを接続したときの効果によく似ていて、演奏のディテールの再現が向上します。BS 録画の再生における CCV-5 への GPS-777 からのクロック供給と DA-3000 への ABS-7777 からのクロック供給に対するパワーリベラメンテの効果は、GPS-777 への接続の方が、ABS-7777 への接続より効果が大きく、CCV-5 本体へのパワーリベラメンテの接続よりも、より音楽の表情が深くなる感じですが、CD 再生における EMT981 と CCV-5 への GPS-777 からのクロック供給に対するパワーリベラメンテの効果は、顕著に音楽の表情の深みがまし、EMT981 本体や CCV-5 本体へのパワーリベラメンテの接続より、こちらの方が望ましいくらいに感じます。

このような GPS-777 や ABS-7777 への電源ケーブルの効果は、非常に不思議で理解に苦しむところです。

#### 2-1 1) アンプ用タップへの接続効果

<http://audiokenkyu.sakura.ne.jp/wordpress/wp-content/uploads/2013/11/d6129598819f13a9ef0b2a427bf471fe.pdf>

今回はアンプ関係への適用ということで、アンプ用タップへの接続効果をしらべることとし、このタップから 300B シングルアンプと Leak Point 1 と IPC AM1029 などの電源を取ってみることを実施しました。

300B への適用では、ベルリンフィルの Digital Concert Hall を聴いてみますと、ライブ感の一層の向上がありますし、CD のリアルタイム DSD 変換再生では CD らしからぬ緻密なディテールの表現が出てきます。Leak Point 1 と IPC AM1029 というウルトラビンテージのラインアップでは、PC から AM1029 までの電源すべてをパワーリベラメンテで給電したタップから取ってベルリンフィルの Digital Concert Hall を聴いてみました。ベルリンフィルの選抜メンバーによるコレルリやバッハのアンサンブルものや宗教曲がこれで十分ではないか、むしろ昨今のハイエンドよりいいのではないかと錯覚すら覚えるパフォーマンスでした。CD のリアルタイム DSD 変換再生でも、ビンテージのラインアップで十分ではないかという印象です。

#### 2-1 2) 総合評価

<http://audiokenkyu.sakura.ne.jp/wordpress/wp-content/uploads/2013/11/8ebbde30604a5770f6330c6957ca6381.pdf>

<http://audiokenkyu.sakura.ne.jp/wordpress/wp-content/uploads/2013/11/7efae6e518628b8da543d00cb280282a.pdf>

リベラメンテ適用対象の拡大、展開を図ってきましたが、この時点で、2回にわたってオーディオ仲間にご臨席いただき、最近の一連の対策の成果も含めた総合評価を行っていただきました。即ち、パワーリベラメンテの効果以外に、①iPhono2 台によるアナログ再生、②512sDSD と 256sDSD の Native 再生、③CD から DSD へのリアルタイム変換再生、④光フレッツの高速化、無線ルーターの高速化、LAN ケーブルのオーディオグレードへの交換などによるベルリンフィル Digital Concert Hall 再生、⑤EMI のレコーディングモニターとそのアンプの試聴、⑥アクションパッドや ES-OT4 などアクセサリーの効果などについて総合的に確認していただきました。その結果、逐一進化の過程をご確認いただいている A 氏には上記のように再生条件を替えても確かにパワーリベラメンテ導入による効果がでていたとのことで、一連のその他の対策とともに評価していただけたものと思われれます。また、飛び入り参加のパワーアンプについてもその効果が認められ、また GPS-777 に対する効果も事前の検討結果が再現できました。

### 3. まとめ

今回までにすべての機器にパワーリベラメンテで接続したタップから、あるいはそのタップから二次的に給電されたタップから給電されたこととなります。また、一部についてはタップから機器までの給電にパワーリベラメンテを使用してみました。結果として、パワーリベラメンテで接続したタップからの給電、そのタップから二次的に給電されたタップからの給電、タップからの直接機器への給電すべてにおいて多かれ少なかれ効果が認められ、直接機器への給電にパワーリベラメンテを使用するとそれぞれの特徴がより明瞭に感じ取られるようになり、本来のポテンシャルが引き出されたかのようです。また、GPS-777 や ABS-7777 のようなクロックジェネレーターへのパワーリベラメンテ使用の効果が認められたことは不思議としか言いようがありません。

今後の計画としてはタップからの直接機器への給電対象を増やすことと、電源関係をまったく配慮していないネット関連の光モデム、CTU、無線ルーター、NAS などへの対策を検討したいと考えています。

以上